

こんにちは  
庄子春治の議会報告



12月定例会市議会で一般質問する庄子市議員

「お金が増えて医療にかかれない」という人をなくすため、金沢市で実施している、低所得者への医療費減免制度（療養支援事業）の実施を提案しました。下長根市民部長は「研究する」と答えました。



12月議会で予算がつきました

12月議会補正で地域から寄せられていた要望など36事業が予算化されました。9月議会で11億円も基金に積み立てた際、庄子議員が「積立ばかりではなく、先送りされていた市民要望を予算化し、経済対策を」と提案していました。

保育園へエアコンの設置

これまで設置されていなかった見前、手代森、永井、乙部、東見前保育園など9保育園にエアコンが設置されます。(予算額590万4千円)

保育園へ洋式トイレの設置

見前、飯岡、乙部保育園など9保育園に洋式トイレが各2基設置されます。(予算226万8千円)



都南公民館の陶芸用電気窯

都南公民館で壊れた陶芸用電気窯を更新する(予算額190万円)ほか、中央公民館のクロス・襖張り替え、上田公民館和室の畳表替えなどが行われます。

見前2号線、矢盛線の改良

東見前の「見前2号線」は、狭隘ですれ違いにくいことから(写真右)、待避所設置工事が行われます。(予算額858万円)



飯岡地区の矢盛線は危険な、狭隘で変形の交差点の改良が行われます(182万円)

★**国保引き下げ・医療費減免を!**  
庄子議員は、「国保税の引き下げを求めるとともに、お金が増えて医療にかかれない」という人をなくすため、金沢市で実施している、低所得者への医療費減免制度（療養支援事業）の実施を提案しました。下長根市民部長は「研究する」と答えました。

★**住宅リフォーム制度は来年度から**  
住宅リフォーム制度について庄子議員の質問に大志田商工観光部長は、「来年度から実施したい」と答えました。

12月定例会市議会で、党市議団も提案してきた要望・課題が大きく前進しました。また庄子議員は、一般質問に立ち国保問題など市民の声を届けました。

TPP参加に反対!  
12月市議会最終日、TPP交渉への参加に反対する請願(新しいわて農協などが提出)が全会一致で採択され、国への意見書を決議しました。  
TPPに参加した場合の盛岡市の農業生産額で103億円の減収が見込まれることが明らかになりました。



高橋ちづ子  
衆議院議員  
新年のごあいさつ、地方議員と力あわせが  
んばります  
いつも大変お世話になっております。昨年は、菅、内閣の違法運転によって、国民の期待は大きく裏切られ、暮らしも平和も脅かされてきました。夏の参議院選挙は大変厳しい結果でしたが、しっかりとよせられた声を受け止め、今度こそ国民に選んでもらえるように、元気に頑張っています。  
有権者はいま、選挙目当てのカラ約束や、あげ足取りの批判合戦に愛想をつかし、「本当に国民のための、地に足ついた活動をしているのか」を見極めようとしています。  
今年はいっせいで地方選挙があります。高すぎる国保税や介護保険、子どもの医療費無料化や雇用、農業対策など、切実な願いと国政はまっすぐ結びついています。一番身近で頑張っている地方議員さんと力をあわせ、もっともって皆さんの声を国会に届け、実らせたいと思います。もっと皆さんの役に立つよう、全力で頑張りたいと思います。

達増知事に切実な県民要望をまとめ



各藤信県議  
かけあるき

地域活性化の起爆剤・住宅リフォーム助成の実現を求める  
住宅リフォーム助成事業は昨年9市町村でしたが、今年は18市町村に劇的に広がりました。  
宮古市では11月末で2500件、工事費で11億円を超える事業となり、地元の大工さんや畳屋さん、屋根屋さんなどに仕事が増えました。実に6軒に1軒が利用したことになりました。  
秋田県では、県として住宅リフォーム事業が取り組まれ、11600件、252億円の工事額、経済波及効果は500億円を超える規模となっています。まさに、地域経済活性化の起爆剤となっています。  
17日には、岩手県建設労働組合、岩商連、畳工業組合など建設関係8団体が上野副知事に住宅リフォーム助成の実現を求めました。もう一步のところまで追いつめてきています。



12月20日、達増知事に来年度の予算要望をしました。

築川ダム事業・ダムのほうが安くつく? 3つのごまかし

12月の中旬、NHKがテレビのニュースで「築川ダム事業の検証結果で、ダムのほうが安くつく結果となった」と全国版で放映したことから、「ダムのほうが安くつくことは本当か」の疑問の声が寄せられています。しかし、この県による築川ダム事業の検証結果には大きなごまかしがあります。  
第一のごまかし 国の検証基準が治水対策のあり方を問うことより、残事業費でダムかその他の治水案かをコストで比較することに問題があります。これではダム事業が進んでいればどんなに問題があってもダムのほうがコストが安いということになってしまいます。あくまでも、築川ダムの特性、実態に合った治水対策のあり方を検討すべきです。  
第二のごまかし 築川ダムの残事業費が250億円にもかかわらず、検証による築川ダム治水は160億円と小さく見せ、宅地かさ上げと河川改修組み合わせの対案は332億円かかると比較していることです。もし、最初から332億円と示されていたら530億円の総事業費より200億円も安くつくことになります。実際はもっと安くつくはずですが。  
第三のごまかし ダム事業によって大規模に自然環境が破壊されることが全く検証の対象となっていないことです。築川・根田茂川の豊かな自然環境とサクラマスやアユが戻る宝の川は、貴重な市民の財産です。  
ダムによる自然環境を破壊するムダ遣い、築川ダムは中止させようの世論を大きく広げましょう。

雇用・就職難打開の取り組み等要望  
予算要望では、雇用・就職難打開の取り組み、高すぎる国保税の引き下げ、5974人特養ホーム待機者の解消、35人学級の小学校3・4年生への拡充、TPP断固阻止・農林漁業の立て直しなど  
求めました。達増知事は、「草の根からの現場の声を整理され、提起されたことを多とし、しっかりと勉強して対応を検討したい」と答えました。  
今年はいっせいで地方選挙の年です。県民の切実な声を届け、県民の声で県議会と県政を動かす。議席が共産党の議席です。皆さんと力を合わせ何とでも守り抜く決意です。これまで以上の温かいご支援を賜りますようお願いいたします。

県民の声で県政を動かす共産党の議席を